第２章

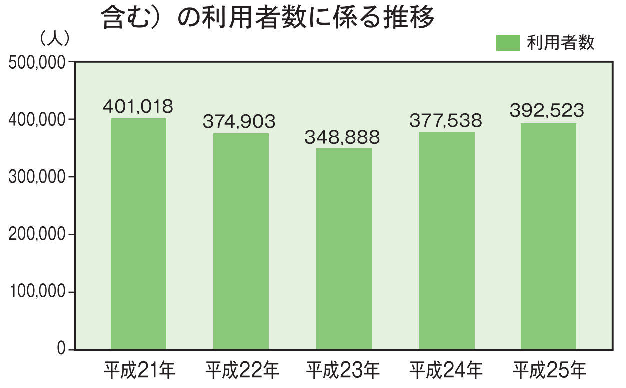
郷土をつくる人材が育つ、教育と文化のまちづくり

施策２−１　生涯にわたり学べる環境づくりの推進

現状と課題

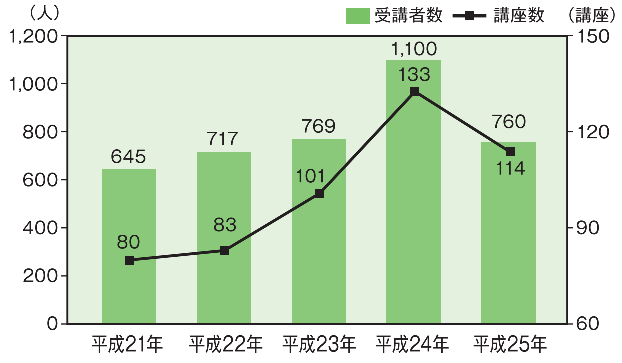
- *グローバル化や高度情報社会等の進展により、絶えず新しい知識や情報が発信される環境の中、市民の学習ニーズは多様化しています。また、生涯にわたり生きがいのあるライフプランづくり等、心の豊かさや自己実現を図る学習環境が求められています。
- 本市では、*米沢鷹山大学を市民主体の生涯学習を進める中核と位置づけ、市民が生涯学習についての理解を深め、一人ひとりが自分の関心を持つ分野や課題解決に向けて学習できるよう支援しています。
- 今後とも、様々な学習機会を通じて生きがいを持った感性豊かな活力ある市民を育てる環境づくりを進める必要があります。さらに、様々な年代が学べるよう学習機会の充実を図るほか、社会教育活動の拠点となる各地区のコミュニティセンター等を誰もが利用しやすい施設とするための環境整備が必要です。
- また、学園都市の特徴を活かし、高等教育機関と連携した生涯学習体制を構築することで、市民の学習意欲を向上させる取組も必要です。
- 市民の学びの拠点となる図書館は、安らぎや潤いの場にもなることから、全ての市民が図書に親しめる環境づくりを推進するとともに、郷土資料を活用した学術研究を進め、博物館と連携して地域文化の情報発信を充実させていく必要があります。

図表　コミュニティセンター（置賜総合文化センター含む）の利用者数に係る推移



「市社会教育・体育課」

図表　生涯学習市民おしょうしなカレッジに係る推移



「市社会教育・体育課」

図表　図書貸出冊数の推移

H 21	H 22	H 23	H 24	H 25
271,562 冊	299,318 冊	302,121 冊	306,667 冊	304,766 冊

「市文化課」

【用語解説】　＊グローバル化 ⇒ p166 参照　　＊米沢鷹山大学 ⇒ p170 参照

施策の目指す姿

生涯にわたり、個々のライフステージに応じ、学ぶことへの意欲や教養を高め、人と人とのつながりを深めながら、生きがいを感じて暮らせるまちを目指します。

市民の生涯学習の中心としてコミュニティセンターや米沢鷹山大学の講座内容の充実を図るとともに、まちづくりへの参加を促進するため生涯学習の環境整備を進めます。また、社会教育活動の拠点となる施設や図書館の活用を推進します。

施策での取組

2−1−1　学習機会の充実

担当課：社会教育・体育課

- 高度化、多様化する学習ニーズに対応した講座等の開催を推進します。
- 学習活動の場や発表の機会の提供とともに、多様な学習ニーズに応える学習相談体制を強化します。
- 米沢鷹山大学等の各種講座の充実を図るとともに、高等教育機関と連携した生涯学習講座の開催等、各種団体や市民のネットワーク形成と交流を促進します。
- 地域の学習活動拠点となるコミュニティセンターの学習講座等を充実させます。

2−1−2　学習環境の整備

担当課：文化課

- 図書館機能を充実させ、誰もが利用しやすい環境を整備するとともに、貴重な古典籍や古文書等の郷土に関わる資料の収集、整理と活用を図り、情報発信機能を強化します。

主な事業	鷹山大学運営事業、生涯学習推進事業、新文化複合施設管理運営事業

市民・地域・事業者等に期待する役割

〔市　民〕
- 生涯学習活動に積極的に参加しましょう。
- 自分の経験や学習した成果を地域における教育活動に活かしましょう。

目指す目標値（活動指標・成果指標）

No	成果指標名	現状値の年度	現状値	前期目標値（H 32）	担当課
1	コミュニティセンター（置賜総合文化センター含む）の利用者数	H 26	382,350 人	400,000 人	社会教育・体育課
2	市民おしょうしなカレッジ参加者の理解度	—	—	80%	社会教育・体育課
3	図書貸出冊数	H 26	298,087 冊	450,000 冊	文化課

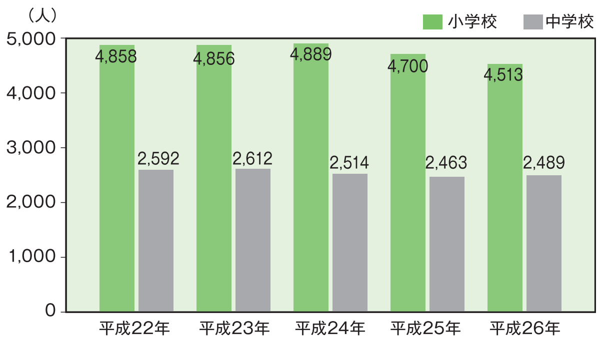
モバイルキッズケミラボ

施策 2－2　子どもたちが健やかに成長する環境づくりの推進

現状と課題

- 価値観の多様化が進む中、子どもたちの健全育成を図るためには、家庭、学校、地域が密に連携して教育を推進することが求められています。
- 学校教育については、学校の小規模化や子ども同士の関わりの希薄化等が問題となっているほか、不登校、不適応、問題行動等の原因も複雑化する傾向があります。一人ひとりが自らの資質や能力を活かし、誇りと自信を持って生きていくためには、確かな学力と感性豊かな心を育むことが強く求められています。また、国の様々な教育改革の施策を踏まえ、適正な児童・生徒数や学級数を確保するための取組を推進する必要があります。
- 高等学校教育については、教育内容の充実とともに、地元進学率、就職率を高めるための取組を促進するよう県に働きかける必要があり、専門学校教育については多様な社会ニーズに対応した教育内容の充実を図る必要があります。
- 青少年の健全育成については、情報化の進展による有害情報の氾濫、昼夜を問わないライフスタイルや商業活動等を背景に、青少年を取り巻く環境は複雑化しています。今後とも家庭、学校、地域と行政が連携を強化し、環境浄化を図りながら青少年の健全育成を推進していく必要があります。

図表　児童・生徒数の推移



「学校基本調査」

施策の目指す姿

子どもたちが楽しく学習し、確かな学力を身につけ、健康な身体をつくるとともに、郷土愛が育まれ、夢や目標をもって学ぶまちを目指します。

教育体制づくりを推進するとともに、子どもたちが豊かな心を育むことができるよう、学校教育と社会教育の連携・充実により青少年の健全育成を図ります。さらに、子どもたちが学びやすいよう、教育環境の整備や地域に開かれた学校づくりに努めるほか、高等教育や専門学校教育の充実を促進します。

施策での取組

2－2－1　学校教育の充実

担当課：学校教育課

● いのちを育む大切さ等、豊かな人間形成と人間関係づくりの教育を充実させ、不登校やいじめ等の未然防止を図るとともに、学校不適応の子どもたちへの一貫した支援を推進するため、支援体制の整備や関係機関との連携を図ります。
● 郷土に愛着を感じ、本市の将来を担う意欲ある人材を確保するため、心の教育の充実を図り、自立心やチャレンジ精神の育成を推進します。
● *学校評価の充実等、地域へ開かれたより良い学校づくりを進め、地域と一体となった学校づくりを推進します。

2－2－2　教育環境の充実

担当課：教育総務課、学校教育課

● 施設の老朽化に伴う改修を計画的に進め、子どもたちが過ごしやすい環境づくりに努めるとともに、省エネルギー化等の環境に配慮した施設整備を推進します。
● 給食の衛生管理徹底と衛生対策の充実を図るほか、学校給食の*地産地消を推進します。
● 高等教育機関と連携し、子どもたちへの学習講座を推進することで、地元大学の分野に興味を抱くきっかけづくりを促進します。
● 「米沢市立学校適正規模・適正配置等基本計画」については、国の様々な教育改革の施策を踏まえ、見直し等の検討を行います。
● 安全教育の充実を図るとともに、子どもたちが安全・安心に過ごせるよう、地域との連携を推進します。

2－2－3　高等学校・専門学校教育の充実

担当課：総合政策課、学校教育課

● 個性ある魅力的な高等学校教育の推進と私立高等学校に対する助成拡充を県に要請するとともに、多様なニーズに対応した専門学校教育の充実を促進します。
● 高等教育機関の出前講座等を活用し地元大学への興味を持ってもらうなど、高等学校と大学の連携をさらに推進し、地元大学への進学率の向上を促進します。

2－2－4　青少年の健全育成

担当課：社会教育・体育課

● 家庭・学校・地域との連携強化を図り、子どもを地域で見守り育てる環境をつくることで、青少年の非行防止に努めるとともに、大人が子どもの手本となるモラル・マナーアップ活動や時代に即応した情報教育を進め、環境の浄化を図りながら、青少年の健全育成を推進します。

【用語解説】　*学校評価 ⇒ p165 参照　　*地産地消 ⇒ p168 参照

主な事業	小中学校施設整備事業

市民・地域・事業者等に期待する役割

〔児童・生徒〕

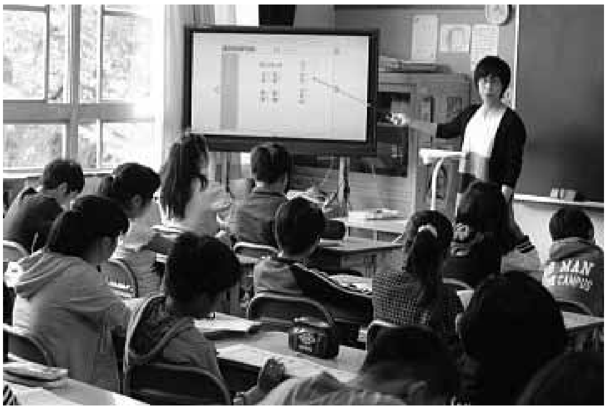
- いのちの大切さを理解し、優しさや思いやりをもって人と接しましょう。

〔市民・地域〕

- 学校と連携し、学校運営を支援しましょう。

目指す目標値（活動指標・成果指標）

No	成果指標名	現状値の年度	現状値	前期目標値（H 32）	担当課
1	学校給食における置賜産農産物の使用割合（野菜）	H 25	30.6%	35.0%	学校教育課
2	学校給食における置賜産農産物の使用割合（果物）	H 25	21.0%	30.0%	学校教育課



小学校授業風景

学校給食

施策 2－3　誰もがスポーツに親しめる環境づくりの推進

現状と課題

- 市民の健康志向の高まりと競技力向上の意欲を背景に、子どもから高齢者までの幅広い年代において多様なスポーツを楽しむ人々が増加していることから、より多くの市民が生涯にわたって日常的にスポーツに親しめるよう、市民意識の向上を図り、スポーツ活動参加への機会づくりに努める必要があります。
- スポーツに参加するだけでなく、観る・支える機会を増やすことで、市民のスポーツ活動に対する関心を高めることも必要です。
- 本市においては、これまで、多目的屋内運動場、人工芝サッカーフィールド等の体育施設の整備を行ってきましたが、今後も安全な施設の確保と計画的な施設の整備が必要です。
- 競技スポーツにおいて、東北大会や全国大会等に出場する選手を輩出するなど一定の成果を挙げていますが、今後の活躍においては、更なる競技力向上が必要です。

図表　体育施設利用状況等の推移

	H 21	H 22	H 23	H 24	H 25
体育施設利用状況（注）	290,438 人	290,462 人	260,215人	325,276人	374,062 人
スポーツ少年団登録数	62 団体	63 団体	64 団体	69 団体	65 団体
スポーツ教室参加者数	183 人	193 人	149 人	144 人	160 人
総合型スポーツクラブ数	3 クラブ	3 クラブ	3 クラブ	4 クラブ	4 クラブ

（注）体育施設：市保有の体育施設 22 施設　　「市社会教育・体育課」

施策の目指す姿

市民が生涯にわたって目的に応じたスポーツに親しむことができるまちを目指します。

生涯にわたって市民の健康を維持・向上させるためのスポーツや、観る・支える多様なスポーツ活動を推進するとともに、競技力向上のための指導体制を充実させます。また、安全かつ適切なスポーツ環境を提供できるよう、計画的な体育施設の整備を推進します。

施策での取組

2−3−1　*生涯スポーツ活動の推進　　担当課：社会教育・体育課

- 市民の興味や関心、適性等に応じて日常的にスポーツ活動に参加できる環境づくりに取り組み、学校、地域、団体と連携して「1市民1スポーツ」を推進します。
- プロスポーツ等の観戦による「観る」機会及び各種スポーツ活動に係わる「支える」機会の提供を推進します。

2−3−2　スポーツ団体の育成　　担当課：社会教育・体育課

- *総合型地域スポーツクラブの組織化を支援するとともに、既存クラブ相互の連携を促進します。
- 市民が自分に合った総合型地域スポーツクラブを選択しスポーツ活動に参加できる情報の提供を行い、クラブ加入者の増加を促進します。
- 米沢市体育協会と連携し、スポーツ少年団や各種スポーツ団体の情報を発信し加入者の拡充を行い、青少年の健全育成や市民の健康増進を促進します。

2−3−3　競技力向上の推進　　担当課：社会教育・体育課

- 米沢市体育協会と連携し、競技団体による選手の強化事業を促進します。
- 米沢市体育協会を中心とした、ジュニア期から一貫した指導理念に基づく育成システムの構築を促進します。
- 大学運動部等の合宿を本市へ誘致し、児童・生徒等とのスポーツ交流を図り、競技力向上を推進します。

2−3−4　スポーツ環境の整備　　担当課：社会教育・体育課

- より良いスポーツ環境を提供するため、安全に配慮した施設管理と、利用者が安心してスポーツ活動が行える施設の計画的な整備を推進します。

主な事業	生涯スポーツ推進事業、スポーツ指導者育成事業、体育施設整備事業

市民・地域・事業者等に期待する役割

〔市　民〕
- それぞれの目的や目標に応じたスポーツ活動をしましょう。

〔事業者〕
- 企業スポーツ活動を推進するとともに、所有体育施設を開放しましょう。

【用語解説】　＊生涯スポーツ ⇒ p167 参照　＊総合型地域スポーツクラブ ⇒ p168 参照

目指す目標値（活動指標・成果指標）

No	成果指標名	現状値の年度	現状値	前期目標値（H 32）	担当課
1	スポーツ教室参加者数	H 26	164 人	200 人	社会教育・体育課
2	総合型地域スポーツクラブ数	H 26	4 クラブ	5 クラブ	社会教育・体育課
3	体育施設利用状況	H 26	389,082 人	400,000 人	社会教育・体育課

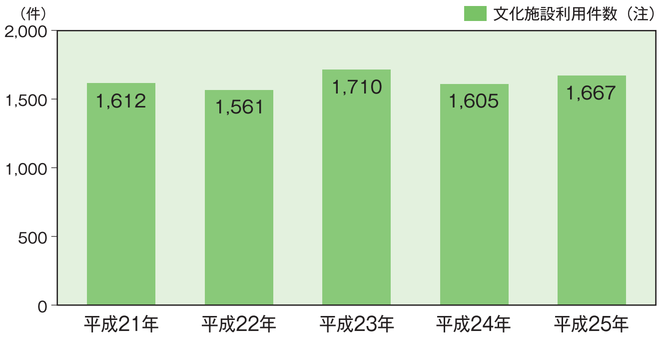
合宿誘致事業

施策 2－4　郷土の歴史を継承し、芸術文化を創造するまちづくりの推進

現状と課題

- 本市には平成 28 年度に開館する新文化複合施設（図書館・市民ギャラリー）をはじめ、伝国の杜（置賜文化ホール・米沢市上杉博物館）や市民文化会館、座の文化伝承館等の文化施設があり、本市のみならず置賜地域の芸術文化の拠点として活用されています。
- 本市には米沢市芸術文化協会を中心とした市民の自主的な芸術文化活動が浸透しており、今後とも情報の共有化や連携を一層強化し、活動の更なる活性化を図っていく必要があります。また、市民がより豊かな人生を送るための活力源となるよう、様々な文化活動の場を提供していくとともに、多くの市民が芸術文化を身近に感じられる環境づくりを行う必要があります。
- 本市には、上杉家ゆかりの貴重な国宝等の文化財や国指定の史跡をはじめ、獅子踊りや*草木塔といった独自の伝統文化が数多く存在しています。これら文化財の適切な保存管理と継承、活用を図ることで地域の活性化に繋げていくことが必要です。

図表　文化施設利用件数の推移



（注）文化施設：置賜文化ホール、市民文化会館、座の文化伝承館、市民ギャラリー　「市文化課」

施策の目指す姿

受け継がれてきた歴史や文化を保存・継承し、誰もが誇りを持ち、心豊かで活力ある文化のまちを目指します。

市民の豊かな心を育めるよう芸術文化の振興を図るとともに、本市の重要な文化財を適正に保護・保存し、有効に活用することで交流人口の増加等にも繋げ、本市の活性化を推進します。

【用語解説】　＊草木塔 ⇒ p168 参照

施策での取組

2−4−1　芸術文化の振興　　担当課：文化課

- 置賜文化ホールや市民ギャラリー、市民文化会館等における自主事業を充実し、市民が優れた芸術文化に触れる機会を設けるとともに、芸術文化に取り組む人材の育成を図るため、市民の文化活動への支援等により自主的な芸術文化活動を促進します。
- 本市ゆかりの芸術家、作家の作品展や公演等の機会を設けるとともに、地域の伝統芸能や伝統文化の継承を支援するほか、芸術文化関係の情報収集と提供を推進します。

2−4−2　文化財の保護、保存と活用　　担当課：観光課、文化課

- 文化財等の保護活動を支援するとともに、学校や地域と連携し、子どもや地区住民が地域の伝統芸能や史跡等を学習する機会を設け、文化財への理解と文化財を身近に感じられる環境を整備します。
- 本市所有の貴重な文化財を適切に保存管理するとともに、指定文化財等の適正な保護を推進します。
- 文化財を観光資源として活用することで地域の活性化を促進します。
- 史跡や遺跡をはじめとする様々な歴史的資産の保存と活用を図るとともに、舘山城跡の国史跡指定と、史跡公園に向けた整備を推進します。

主な事業	市民芸術文化活動促進事業、指定文化財保存修理事業

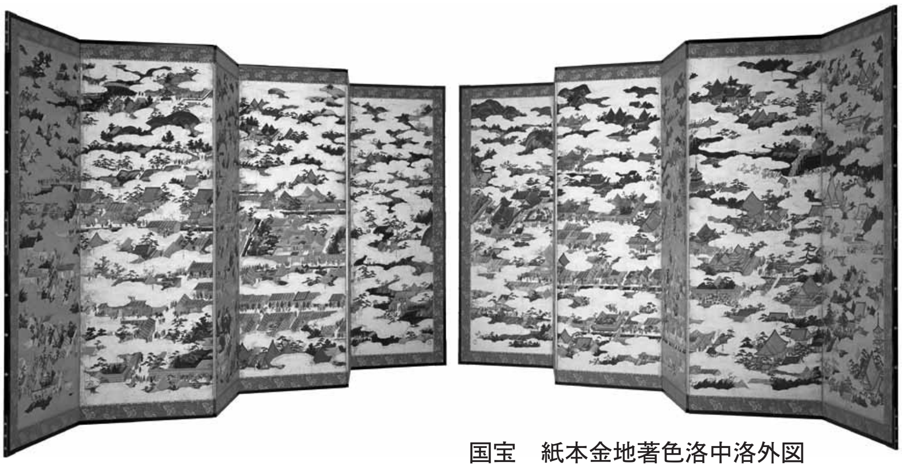
市民・地域・事業者等に期待する役割

〔市　民〕
- 様々な芸術文化に親しみ、芸術文化活動に参加しましょう。
- 地域の祭りや伝統行事に積極的に参加し、保存継承に努めましょう。

〔事業者〕
- 市民や従業員の芸術文化活動を理解し、協力しましょう。

目指す目標値（活動指標・成果指標）

No	成 果 指 標 名	現状値の年度	現 状 値	前期目標値（H 32）	担 当 課
1	文化施設利用件数	H 26	1,533 件	1,833 件	文　化　課
2	市民芸術祭への参加団体数	H 26	59 団体	61 団体	文　化　課
3	市指定文化財件数	H 26	55 件	57 件	文　化　課



国宝　紙本金地著色洛中洛外図
狩野永徳筆　六曲屏風
（所蔵：米沢市）

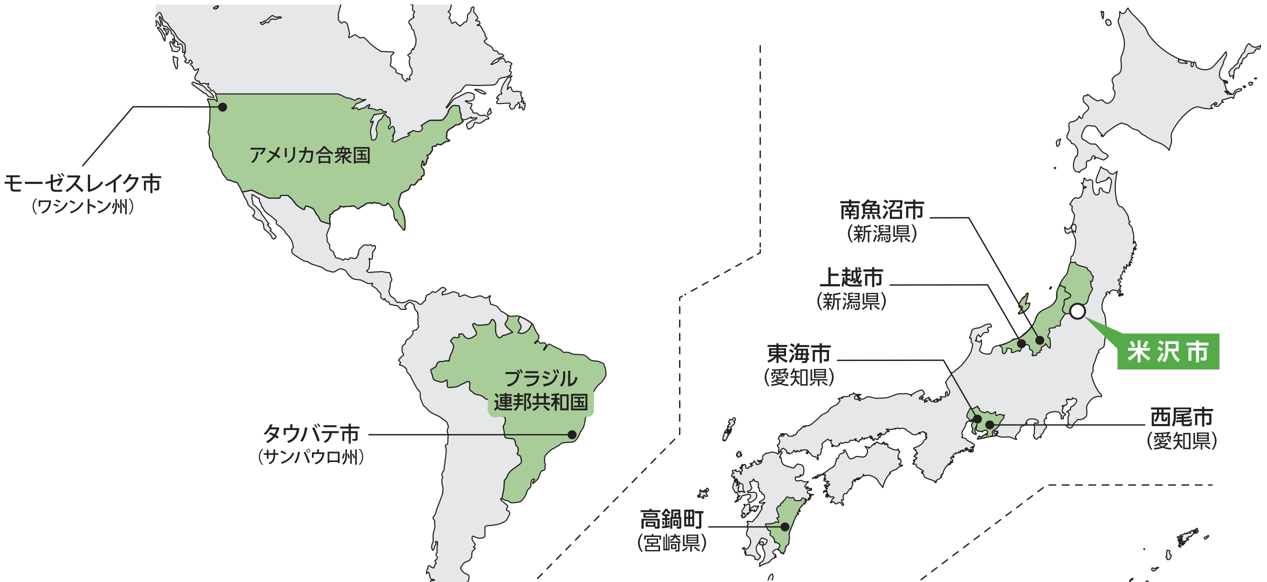
綱木獅子踊り

施策２－５　多様な文化とつながり、交流するまちづくりの推進

現状と課題

- 本市では国内６都市・海外２都市と姉妹都市（友好都市）を締結しており、今後も本市とゆかりのある都市等との交流を市民や市民団体間で深めるほか、イベント等を通じて、多様な地域間の交流を推進することにより、市民の視野を広げ豊かな心を育む必要があります。
- 国際交流の推進や、社会経済の*グローバル化が進んだことで、本市においても外国からの留学生をはじめ、様々な国籍の外国人が在住していることから、こうした外国人との交流機会を充実させるとともに公共施設や観光施設の案内表示等の多言語表記を推進し、外国人が暮らしやすいまちづくりを推進する必要があります。

図表　米沢市の姉妹都市、友好都市及び歴史親善友好都市



都市名		区分	締結年月日
タウバテ市	（ブラジル共和国サンパウロ州）	姉妹都市	昭和49年１月28日
高鍋町	（宮崎県）	姉妹都市	昭和56年４月27日
モーゼスレイク市	（アメリカ合衆国ワシントン州）	姉妹都市	昭和56年５月１日
上越市	（新潟県）	姉妹都市	昭和56年10月７日
南魚沼市	（新潟県）	歴史親善友好都市	昭和61年９月１日
沖縄市	（沖縄県）	姉妹都市	平成６年４月１日
東海市	（愛知県）	姉妹都市	平成12年10月20日
西尾市	（愛知県）	友好都市	平成25年12月15日

「市秘書広報課」

【用語解説】　＊グローバル化 ⇒ p166 参照

施策の目指す姿

姉妹都市等との間で、活発な相互交流を図るとともに、外国人も暮らしやすいまちを目指します。

姉妹都市等との地域間交流を推進し、本市の魅力や特性を発信することで地域経済を活性化させるとともに、外国人が暮らしやすいまちづくりを推進するなど、国際交流を推進します。

施策での取組

2－5－1　国内交流の推進

担当課：秘書広報課、観光課、農林課、社会教育・体育課、文化課、学校教育課

- 姉妹都市や友好都市等との交流を通じて、広く本市の文化や魅力を発信するとともに、他地域文化を知ることで市民同士の理解を深めます。
- 交流人口の拡大を図るため、各種学会・大会・イベント等の誘致を促進するとともに、自然等を活用した体験型交流を推進します。

2－5－2　国際交流の推進

担当課：秘書広報課、観光課、土木課、社会教育・体育課、学校教育課

- 学校教育や地域社会において国際理解教育を推進するとともに、米沢市国際交流協会をはじめ国際交流団体等との連携により外国人とのネットワークを構築するほか、海外派遣研修等により国際化に対応できる人材の育成を推進します。
- 市内案内表示等の多言語表記化及び暮らしに役立つ行政情報の多言語提供を推進します。
- 米沢市国際交流協会と連携しながら、交流の場の提供や外国人の相談に対応するなど、外国人が暮らしやすいまちづくりを推進します。

主な事業	都市交流事業、国際理解講座事業、外国語教育充実事業、青少年海外派遣事業

市民・地域・事業者等に期待する役割

〔市　民〕

- 文化・スポーツのイベントへ積極的に参加し、交流を深めましょう。
- 他地域や他国の人々と主体的に相互交流を行いましょう。
- 他国の文化を学び、異文化を尊重しましょう。

目指す目標値（活動指標・成果指標）

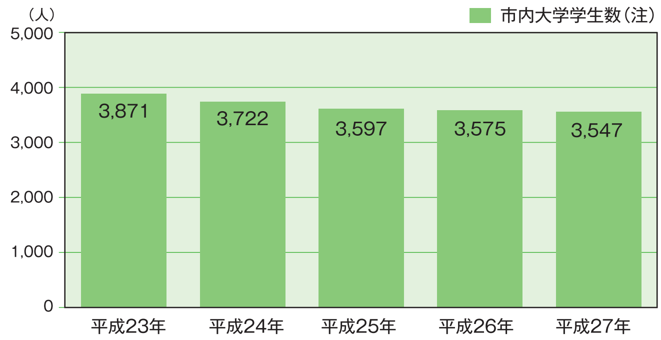
No	成果指標名	現状値の年度	現状値	前期目標値（H 32）	担当課
1	国際理解講座の受講者数	H 26	31 回 延べ 1,100 人	37 回 延べ 1,300 人	秘書広報課

施策 2－6　大学と連携した学園都市の推進

現状と課題

- 本市には、山形大学工学部、米沢栄養大学及び米沢女子短期大学の 3 つの高等教育機関が立地しており、企業や市民、小中高校等と連携・協働して様々な事業を展開するなど、地域に密着した学術研究機関として本市をはじめとした周辺地域の活性化に大きく貢献しています。
- 今後は、これら高等教育機関を中心とした学園都市が形成されている強みを活かして、地域課題や企業ニーズに対応した研究機関としての高等教育機関の機能充実を図ることと、既成の価値観から発想を転換し、新しい価値を創造できる人材や産業を育成していくことが求められています。
- また、大学と地域との交流や連携を促進するとともに、学生をはじめ、若い世代が住みよいまちづくりを推進し、地元高校生の地元大学への進学率を高めるとともに、卒業する学生の地元定着や若者の地元就職、県外進学者のＵターンの割合を高める取組等が求められています。

図表　市内大学生数の推移



（注）学生数に山形大学小白川キャンパスで履修する工学部昼間コース・Aコース1年生は含まない。
「市総合政策課」

施策の目指す姿

大学、企業、市民、地域が互いに連携を図り、新しい価値を創造して成功に導いていくまちを目指します。

魅力あるまちづくりに重要な役割を果たす本市の高等教育機関等を最大限に活用し、地域や企業、小中高校、市民が学び・交流・連携を図ることで、本市の活性化につながる新しい価値の創出を促すとともに、若者が本市で学びたい・住んでみたいと思えるまちづくりを目指します。

また、学生の地域活動への参加を促進し、その活力と行動力をまちづくりに活かすことを目指します。

施策での取組

2－6－1　学生が生活しやすいまちづくりの推進

担当課：総合政策課

- 行政や地域活動等に学生の参画・参加を図り、学生も住みやすい地域づくりを推進します。
- 学生に対する地域情報の発信を充実させます。
- 学生のニーズに対応した利便性の高い公共交通機関等の整備を推進します。

2－6－2　山形大学工学部、米沢栄養大学及び米沢女子短期大学の充実

担当課：総合政策課

- 新しい価値を創造できる人材育成と、地域課題や企業のニーズに対応した研究機関としての機能充実を要請します。

2－6－3　大学との交流や連携の促進

担当課：総合政策課、商工課、社会教育・体育課、学校教育課

- 大学の知識や研究を活用した小中高校教育や市民への公開講座等の取組を促進します。
- 大学での本市の行政概要等の講座を引き続き開講するよう大学へ働きかけるとともに、セカンドホーム事業等を通じて市民と学生との交流を促進します。

主な事業	セカンドホーム事業、高等教育機関開放講座委託事業、学園都市推進協議会支援事業

市民・地域・事業者等に期待する役割

〔大学・事業者〕
- 大学と企業が連携し、新しい産業を創出しましょう。

〔市　民〕
- 大学のイベント等に積極的に協力、参加しましょう。

〔学　生〕
- 地域の行事やボランティア活動に積極的に参画・参加しましょう。

目指す目標値（活動指標・成果指標）

No	成 果 指 標 名	現状値の年度	現 状 値	前期目標値（H32）	担 当 課
1	セカンドホーム事業累計交流組数	H26	384 組（H20～H26 累計）	800 組（H20～H32 累計）	総合政策課
2	米沢市民カレッジ受講者数	H26	47 人	80 人	総合政策課

セカンドホーム